

aiimeguyuu さんの体験記第 16 話です。

-----

育児サークルに通ったり、子供を連れて友達とお出かけしたり、  
落ち着いて家にいることが少なくなった。  
ジャザサイズというエクササイズも始めて僕を託児で預けて  
体を動かす。  
これは友達がやっていることを真似ている。友達ができるんだから、  
私も育児と自分の愉しみを両立したいとの思いからだ。  
急にでかけてばかりの私を母は心配するけど、あんなに外出が嫌だったのに  
外に出たくてたまらない。  
毎日が楽しくなった。  
でも一日中の外出は疲れて次の日はゆっくりしてしまう。  
まだ本当には回復していないようだ。  
無理せず楽しく時を待とう。という気になった。  
家事も苦痛でなくなってきたので、そろそろ自宅に帰る準備をする。  
本来なら育休あけで仕事復帰のはずだったが、まだ本調子ではないため  
仕事はやめることにした。  
申し込んでいた保育所を仕事が理由から病気が理由の申請に変える。  
これで昼間はゆっくりして家事ができるはずだ。  
一人の収入で保育料を払うのは大変だが、今の状態では仕方ない。  
子供を病気で保育所に預けるなんて心が痛んだが、自分の心の安定と  
僕のためを考えたらそのほうがいい。  
そうして僕の保育所通いが始まるのだった。

(続く)